

英語による科学の講義の報告

9月7日(土)の午後、本校において、1年生課題研究生37名が、「英語による科学の授業」を受講しました。「Creative Chemistry」という題で、Dana M. Barry 教授（アメリカ クラークソン大学）に講義をいただきました。通訳には兼松 秀行教授（鈴鹿工業高等専門学校材料工学科科長）にあたってください、以下のような内容を学びました。

- Brief Definition for Creativity 創造性の定義
- Brief Definition of Chemistry 化学の定義
- Combine the two to get Creative Chemistry 創造的な化学
- Present the Periodic Table of the Elements 元素の周期表
- Play the Song: Periodic Table 元素の周期表の歌をCDにより聞く
- Students create a Periodic Table of Items 5感を使い、品物（化学物質）の特徴を調べ、共通性・規則性をまとめる。

事後のアンケートでは、化学に対する興味・関心の向上や英語の学習意欲の向上などが、ほとんどの生徒に見られました。以下に、生徒の感想を一部紹介しておきます。

- 今回の講義で、「共通性を見つける」「規則性を見つける」ということの面白さを感じた。
- 英語の必要性を痛感し、これから勉学に励もうと思なおす良い機会となった。
- 最後に発表があった周期表が独創的でおもしろかった。



講義をする Barry 教授



見た目が同じボールの弾性実験 片方は弾性なし



独自の周期表作り
通訳の兼松教授と話す Barry 教授



作成した周期表の発表